

事務事業名	豊保育所保育活動費		所属部局	保健福祉部		単位番号	5161			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	豊保育所		課長名	清水 晶貞			
			所属担当	豊保育所		担当者名	清水 晶貞			
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17	社会福祉の充実	01	一般	03	02	04	130	06	
施策	28	児童福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	児童福祉法・保育指針・南アルプス市立保育所条例・南アルプス保育の実施に関する条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 本事務事業は昭和28年に設置され、平成15年に全面改築された本保育所施設の適正な運営活動のための事業である。また、児童福祉の充実のため適正な保育の活動を実施する事業である。その内容は、嘱託医報償・研修旅費・保育教材消耗品費・記念アルバム・給食賄費・各種研修経費等である。保育の充実や各種サービスの向上を図り、保育の質の向上に努める。家庭における保育を支援し、一時的に保育が必要となった児童を預かる一時保育、子育てに悩んでいる人の育児相談などの子育て支援事業の経費			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				報償費	235	負担金補助及び交付金	15			
				旅費	0					
			需用費	11,143						
			役務費	330						
					計	11,723				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	26年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
	保育及び子育て支援を実施し、地域や保護者と共に安心して子育てができる環境づくりと安心安全な給食の提供を行う。			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 保育所活動の事業</td><td>個</td></tr> <tr><td>イ: 保育所活動の事業費</td><td>千円</td></tr> <tr><td>ウ:</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア: 保育所活動の事業	個	イ: 保育所活動の事業費	千円	ウ:	
名称	単位											
ア: 保育所活動の事業	個											
イ: 保育所活動の事業費	千円											
ウ:												
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	入所児童及びその保護者 保育所職員		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない								
				<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 児童数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ: 保護者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ:</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア: 児童数	人	イ: 保護者数	人	ウ:	
名称	単位											
ア: 児童数	人											
イ: 保護者数	人											
ウ:												
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	児童の最善の利益を目指した保育の役割と機能を充分果たしていくために、保育の質を高めた保育を受ける 保育所職員の健康管理		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない								
				<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 保育教材の充実</td><td>円</td></tr> <tr><td>イ: バランスの取れた給食の提供</td><td>食</td></tr> <tr><td>ウ: 職員検診率</td><td>%</td></tr> </table>	名称	単位	ア: 保育教材の充実	円	イ: バランスの取れた給食の提供	食	ウ: 職員検診率	%
名称	単位											
ア: 保育教材の充実	円											
イ: バランスの取れた給食の提供	食											
ウ: 職員検診率	%											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童福祉の充実による安心して子育てができる環境づくり		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない								
				<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 保育・子育て支援の市民満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ:</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア: 保育・子育て支援の市民満足度	%	イ:			
名称	単位											
ア: 保育・子育て支援の市民満足度	%											
イ:												

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	954						
		一般財源	千円	12,318	12,439	11,723	12,600			
		事業費計(A)	千円	13,272	12,439	11,723	12,600	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	9	8	7	7			
		延べ業務時間	時間	2,080	2,080	2,080	2,080			
		人件費計(B)	千円	9,466	9,466	9,466	9,466	0	0	0
		(A)+(B)	千円	22,738	21,905	21,189	22,066	0	0	0
活動指標	ア	個	30.0	33.0	30.0	30.0				
	イ	千円	13,911.0	12,439.0	12,600.0	12,600.0				
	ウ									
対象指標	ア	人	162.0	161.0	141.0	158.0				
	イ	人	128.0	126.0	111.0	123.0				
	ウ									
成果指標	ア	円	11,675.0	11,675.0	10,540.0	11,675.0				
	イ	食	39,840.0	39,840.0	39,380.0	39,840.0				
	ウ	%	100.0	100.0	100.0	100.0				
上位成果指標	ア	%	39.7	40.0	40.0	40.0				
イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	本事務事業は、昭和28年に設置され、平成15年に全面改築された本保育所は定員130名である。各季節ごとに行事を実施し、避難訓練、交通安全教室など安全に配慮した事業を展開している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	社会環境の変化とともに、保育に対するニーズの変化にも対応し、保育所への子育てについての期待は年々増加している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	保育及び子育てに対して、安心安全な子育て環境の構築が求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	効果的・効率的な保育事業を目指して取り組んでいる。保護者のニーズに対応した取り組みを実施している。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	豊保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	豊保育所
-------	-----------	-----	-------	-----	------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 少子高齢社会の進展が、更なる児童福祉の充実が求められている本事務事業は、本市の重点施策とも合致している。また、本事務事業による自動福祉の充実が、安心して子育てができる環境づくりのために必要不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 本保育所は市(公)立という性格上、本事務事業に係る必要な経費について税金の投入は当然であり、他にゆだねることは不可能である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域の保育事業に重要な事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事業費が毎年削減される中、必要最低限の事業費で運営しているため。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保育環境を休止・廃止はできない。それでもなくても土日勤務が生じてくる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保育環境を休止・廃止はできない。それでもなくても土日勤務が生じてくる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 本事業は、保育事業のための保育教材や保育消耗品・賄材料である。適正なコストで運営しているため削減はできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 本事業にかかる職員は8名と臨時職員12名(別に5時間パート3名・代替5名)により人事体制を構築している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 児童及び保護者が受益者である。適正な基準により保育料の徴収を行っている。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑪																					